



~わたしがHappy あなたにHappy まちにもHappy 岩崎小~

学校だより

令和8年8月31日
横浜市立岩崎小学校

9月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/iwasaki>

TEL 331-5123 FAX 331-5343

岩崎小学校
WEBページ



夏休みの思い出 と 大人の役割

校長 島田恒弘

暑い夏休みでした。体調を崩さず、事故や事件に巻き込まれることなく過ごすことができましたでしょうか。この夏、国内では、熊本地震、千葉豪雨が起きました。熊本は10年前の地震からの復興の途中で、報道からとてもつらい気持ちが伝わってきました。千葉豪雨は日頃生活している道路や車が使えなくなる恐ろしさを感じました。一日も早い復興と亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りします。

さて、夏休みという思い出すのはラジオ体操とプールと祭りです。空き地に行くと町内会の方がラジオ体操終わりにハンコを押してくれました。最終日には、カードを見せるとお菓子をくれて、それが楽しみで皆勤賞を目指していました。プールは、7月末まで学校の水泳教室に通いました。泳ぎ方などを教わり、夏休み中に何度も近所のプールに通いました。時には父が付き添ってくれて一緒に泳ぎました。スイミングクラブに通ったことはありませんでしたが、こうして自然と泳げるようになりました。そして祭りは、近所で行われる数か所の会場へ小遣いを握りしめて出かけました。地域の方が声をかけてくれたり、友達と会って遊んだりしました。

こうして振り返ると、地域と家庭でたっぷり過ごしていたのだと改めて気付かされます。そしてそれらは、今でも忘れられない思い出となり、今でも生きるエネルギーとなっています。

一方、学校では、計画的な授業や同学年集団での学びの中で、学ぶことの楽しさ、協働して解決する喜びを経験します。

また、友達とのトラブルを経験し、自分の至らなかったところに気付き、どうすればよかったのかを考えます。自分の興味関心のあることばかりではないし、気の合う友達とだけ過ごすわけではないので、集団の中でどうしたらよいかを学びます。

子どもの様々な経験が次へのステップとなるよう支えることが、私たち大人の役割だと考えています。

岩崎小子ども会議

9月2日と14日には、昨年度に続き、岩崎小子ども会議を行います。たてわり班で集まり、どのようなことがいじめに当たるのか、どうしたらいじめをなくしていけるのか、1～6年生で話し合います。

今年度は、PTA本部役員の皆様にもご参加いただきます。少しずつ輪を広げ、みんなで考える機会に育てていきたいと思います。

運動会に向けた取組が始まります。まだまだ暑い日が続きますので学校でも十分気を付けますが、服装や水分のご準備とともに、十分な睡眠時間の確保と、栄養バランスのよい食事へのご配慮をよろしくお願いします。

今月もどうぞよろしくお願いします。

国際平和スピーチコンテスト

横浜市では、市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるため、平成8年度より「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」を開催しています。約5万人の小中学生が参加し、「国際平和のために、自分にできること」をテーマに、児童生徒ならではの視点から、国際平和に対する熱い思いを伝えています。本校でも、6年生がそれぞれの経験をもとに「自分たちにできることは何か」について考え、自分の思いをスピーチしました。

各クラスで発表し合い、クラス代表3名を決め、学校代表者選考会を行いました。代表に選ばれた6名は、自分の思いが伝わるように何度も原稿を推敲し、練習を重ねてきました。学校代表となった児童は、保土ケ谷区選考会でも堂々と発表し、これまでの努力の成果を発揮することができました。また、スピーチするだけでなく、友達のスピーチを聞くことで、国際平和やSDGsについての考えを深める貴重な機会となりました。



6年 日光修学旅行

6月16日・17日に日光へ修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、予定していた行程を予定通り実施することができました。東武ワールドスクウェアでは、ミニチュアで再現された世界の名所を見学し、楽しみながら学ぶことができました。華厳の滝では、普段よりも水量の少ない貴重な光景を見ることができ、友達と記念写真を撮るなど楽しい時間を過ごしました。宿泊先では、みんなで食事をしたり温泉に入ったりしながら、和やかなひとときを過ごしました。二日目の日光東照宮では、事前学習で調べた見どころを確かめながら見学を行いました。大きなけがや体調不良もなく、無事に帰校することができました。保護者の皆様には、準備や健康管理などにご協力いただき、ありがとうございました。



入館式



朝の散歩の様子

東武ワールドスクウェアでの見学



益子焼
絵付け体験



巨大クレーンにびっくり!!旭工場見学(4年)

6月25日(木)、あいにくの雨模様の中でしたが、社会科「ごみはどこへ」の学習の一環として、資源循環局旭工場へ見学に行ってきました。

旭工場では、家庭などから集められたごみを一時的にためておく「ごみピット」を見学。子どもたちは、10階建てのマンションが入るほどの大きな空間に驚きの声を上げていました。また、ごみピットに集められたごみを巨大なクレーンでつかみ、一度に4~5トンものごみを焼却炉へ投入する様子を見学し、ごみ処理の仕組みについて理解を深めました。さらに、中央管制室を外側から見学。工場が24時間体制で稼働していることや、ごみを燃やす際に発生する熱を利用して発電を行っていることを学びました。その電力や熱が福祉施設や温水プールなどにも活用されていることを知り、ごみ処理と資源の有効活用とのつながりに気付くことができました。

今回は電車を利用して現地へ向かったため、公共交通機関の利用マナーや公共施設での過ごし方についても学ぶ機会となりました。実際の施設を見学することで、教室での学習をより深める有意義な一日となりました。



第1回岩崎すこやか会議

「コツコツちょきん大作戦!~じょうぶな骨をつくろう~」

小学生時代の骨形成は、子どもたちの健やかな成長発達、骨折や骨粗鬆症の予防に深く関わっています。今年度の岩崎すこやか会議では、「じょうぶな骨づくり」をテーマに自分自身の生活を振り返りながら健康な体づくりについて考えています。

7月10日(金)に開催された第1回岩崎すこやか会議では、神奈川県骨粗鬆症メディカルスタッフの会で活動されている聖隷横浜病院整形外科医師の大田光俊様とかわさき整形外科・リウマチクリニック看護師の林綾野様を講師にお招きし、お話を伺いました。

骨の貯金ができるのは20才までなので子どもの頃から骨をしっかりとつくるのがとても大切であることや、骨を強くするためには、①睡眠、②食事、③運動が大切であることを学びました。また、骨を強くするために「ジャンプ」がとても効果的であるということを教えていただき、教室でもできる「片足立ち」「エアーなわとび」などにチャレンジしました。子どもたちからは、「骨がこんなに大事だとは思わなかった。未来の自分のために大切にしていきたい。」「みんなでやった体操が簡単でできそうなので、家でもやってみたい。」「『給食が最強』というフレーズが心に残った。好き嫌いせずにちゃんと食べたい。」「睡眠のために早寝をしようと思う。」などの感想がありました。これから、毎月の「コツコツウイーク」で、丈夫な骨づくりに取り組んでいく予定です。

